

平成28年度 第5回小樽市行政評価市民会議 会議概要

開催日時：平成28年11月2日（水）18時30分～19時40分

開催場所：小樽市役所本館2階 市長応接室

出席者：

（委員） 議長1名、委員4名（5名欠席）

（事務局等） 小樽市長 森井 秀明

総務部企画政策室長 伊藤 和彦

企画政策室主幹 安部 俊克

企画政策室主査 今井 英之 佐藤 暢起

（傍聴人） なし

次 第：

- 1 開会
- 2 小樽市行政評価市民会議議長から市長へ報告書の手交
- 3 同議長から報告書の概要説明
- 4 市長から挨拶
- 5 閉会

配布資料：（当日配布）

会議次第、座席表、第4回会議概要、

平成28年度小樽市行政評価（施策評価）報告書

会議内容：

事務局：

＜欠席委員、本日の進め方について説明＞

議長：

- ・それでは、この度行政評価市民会議で施策評価についての報告書を取りまとめましたので提出させていただきます。

＜議長から市長へ報告書を手交＞

市長：

- ・ありがとうございます。

議長：

- ・それでは報告書の要点について説明させていただきます。

まず、1ページ目としまして、「報告にあたって」とありますが、ここでは、市の行政評価の取組やこの市民会議が設置されるに至った経緯ですとか、会議を通じて委員から出された意見等に関するもののほか、次年度以降の展望なども含めまして、今年度初めて実施した施策評価と市民会議について、総括した内容となっています。

今年度は7月上旬から本日まで、5か月間で5回開催しまして、その中で、それぞれの施策や市民会議の進め方などについて、色々と意見が出されましたが、特に、評価方法自体についての意見に関しましては、次年度以降の施策評価の実施に向けての検討課題として、提起させていただきました。

また、最後の段落では、私たち市民会議としても、ここでの意見や提案が、市政を進められる上で参考となるように、より深い議論の場となるよう努力していく、ということを述べさせていただいております。

次に、3ページから4ページにかけては、「平成28年度行政評価市民会議の実施概要」とあります。ここでは、今年度は、市が施策評価を行った33の施策のうち、「除排雪」と「観光」の2施策について意見等を取りまとめましたが、そうした施策の選定や実施の経過ですとか、会議での意見等の取りまとめの手順につきまして、記載しています。

また4ページでは、会議の開催経過について、それぞれの回で協議した事項を含めまして、記載しています。

続きまして、5ページ目以降は、今年度に対象とした2つの施策の概要や、市民会議の中で各委員から出されました意見や提案の内容を記載しています。

5ページから6ページにかけては、「除排雪」の施策評価調書から市の所管部局が行った一次評価までの内容を転記しています。市民会議で出されました、「除排雪」に対しての意見・提案については、次の7ページ目にまとめています。

「大勢の意見」という欄にありますとおり、『所管部局から施策の取組内容について、直接質疑応答をして初めて、色々な創意工夫がなされているということが理解できるけれども、日ごろからもっと、市民への説明を細かく丁寧に行うべきだ』、という意見が多く出されました。

また、これに関連した意見としては、「その他の意見」としまして、『実際に行っている効率化などの見直しについて、評価調書自体にもしっかり記載すべきだ』といった意見ですとか、『そもそも「きめ細かな除排雪」とは、どのような内容なのか記載がなく、市民にとって分からないので、日ごろからの説明も含め、具体的に説明すべきだ』、という意見がありました。

そのほか、『観光都市ということを念頭に置いた除排雪の検討』ですとか、『何か工夫をして、除雪に若者の協力などを得られないか』といったアイデアも出されました。

続きまして、8ページからは、「観光」の施策について記載していますが、8ページから9ページには、「除排雪」と同様に、評価調書の一次評価までの内容を転記しており、10ページ目に市民会議での意見等をまとめています。

「大勢の意見」としましては、やはり『宿泊施設の不足や夜の観光が大きな課題である』といったことや、『観光都市として、市民一人ひとりの意識の向上も必要だ』ということ、また、『観光都市にふさわしいまちづくりに向けては、この施策に位置付けている取組だけではなく、他の施策とも連携しながら進める必要がある』といった意見がありました。

より具体的な意見としまして、「その他の意見」の欄ですが、『宿泊施設』に関しましては、『空きアパートや空き家の活用』といったことですとか、『他の施策とも連携してトータルに』ということに関しましては、『市街地の景観や緑化、文教施設の展示物の老朽改善や見せ方の工夫により、街の魅力を上げていくべき』といったことや、『公衆トイレの汚れに注意を払うべき』などといった意見がありました。

そのほか、『体験型・参加型の事業を増やすべき』ですとか、『若い人向けの安い海鮮料理の提供や小樽限定の商品があれば』といったアイデアも出されました。

また、『他の施策とも連携して』ということに関連がありますが、施策評価の方法や成果指標を含めた施策そのものの考え方・作り方についての課題なども提起されました。

最後になりますが、11ページ目ですが、「全般的な意見等」ということで、施策評価調書の記載内容についての意見ですとか、施策評価や市民会議の進め方などに関する意見をまとめています。

まず、施策に関わらず共通して言えることとしまして、『現在の成果指標だけでは、施策全般の進捗状況についての判断が難しい』ということすとか、『施策を構成する事業

の今後の方向性が、ほとんど「継続」となっており、見直しなどの内容が見えてこない』といったような意見がありました。

次に、「施策評価の進め方等」に関する意見としまして、先ほど、「観光」の施策でも出されておりましたが、『関連する複数の施策を総合的に評価するといった、評価手法の見直しの検討・研究』に関する意見がありました。

「市民会議の進め方等」に関する意見としましては、『今回のような進め方でよいと思う』といったことのほか、『市民会議としても、市民の視点から、施策が順調に進んでいるのか否かについて、判定結果を示す方法を検討すべき』といった意見もありました。

- ・以上が報告書の概要となりますが、今後市政を進められる上で、参考にさせていただきたいと思えます。

また、私ども市民会議としまして、より意見等が反映されるよう、会議の進め方も含めまして、議論を深めながら、次年度も取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

- ・今年度の行政評価市民会議の報告は、以上であります。

事務局：

- ・議長、ありがとうございました。

それでは続きまして、市長からひと言お願いします。

市長：

- ・改めまして、本日は石黒議長をはじめ、委員の皆様にごこのような遅い時間にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。また、5回もの会議にお集まりいただき、そしてこのような報告書を作っていただきましたことに対しましても、重ねて御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

改めて報告内容をお聞きしまして、ただ今議長からもお話がありまして、今後の市政運営に反映できるようにと思っておりますし、また、今、新たな総合計画を平成30年を目途に作る予定でして、この総合計画にも今のお話も含めて反映できるようにして参りたいと思っております。

また、今回は除排雪と観光に対して取り組んでいただいたところでございますが、実際には、この行政評価そのものの評価もしていただきました。行政評価そのものの手法や表現の仕方や書き出し方、更には市民の皆様により参画をしていただいて、より良い行政評価になっていく、市民会議としてより高まっていくためにも、御指摘をいただいておりますので、その点については事務局職員も含めて更に改善を図っていかねばならないと思っております。

いずれにいたしましても、先ほどお話がありまして、この度初めて、行政評価に

対しまして、市民の皆様に関わっていただくようになりました。市政というのは、除排雪や観光に限らず相当数の取組がございます。私としましては、将来の理想としましては、どの取組におきましても、市民の皆様に関わっていただき、行政評価に携わっていただき、更には市政における取組に対して皆様から様々な御指摘、アドバイスをいただいて、より良い環境になっていくことが理想であると考えております。引き続き、その理想に向けて取り組んで参ります中で、皆様のお力添えをいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

事務局：

- ・市長、ありがとうございました。
- ・それではこれもちまして、今年度の行政評価市民会議を終了したいと存じます。皆様ありがとうございました。引き続き、来年度もよろしく願いいたします。

<終了後、事務局から事務連絡。行政評価市民会議委員と市長との懇談>